

「全レンヌを走る日」へ参加して

陸上競技部（農学部2年） 鈴木絢子

去る10月14日、私は仙台市と国際姉妹都市であるフランス共和国レンヌ市との国際姉妹都市交流の一環で、毎年レンヌ市で開催されているロードレース大会「全レンヌを走る日」の派遣選手として仙台市より選考していただき、海外でのロードレースという貴重な経験をさせていただきました。

日本から飛行機で11時間という遠距離の遠征はもちろん初めてで、異国の地での調整練習や栄養管理などに不安もありました。しかし、フランスの人々の歓迎は温かく、不安など忘れ、現地の文化や風習を楽しませていただきました。

現地入り4日後に迎えた5kmレースは、記録17分39秒と、タイム的には満足のいく結果ではありませんでしたが、日本人ではたった一人参加している私に対し、沿道から驚くほどの応援があり、レース自体は存分に楽しませていただきました。

ケニアやエチオピアなどアフリカ勢選手の速さには圧倒されてしまいました。その勢いを肌で感じられるようなハイレベルなレースに参加できたことは大きな刺激になりました。この経験を生かし、今後も練習に励み、結果を残していける選手を目指していきたいと思えます。

